

資料 3 - 2 1
中部様式

**令和5年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価
(及び地域公共交通計画の評価結果) 概要 (全体)**

**田原市地域公共交通会議
(田原市)**

平成19年3月23日設置

平成26年6月 田原市地域公共交通網形成計画作成
(計画期間：平成26年6月～令和6年3月)

令和4年6月15日 フィーダー系統 確保維持改善計画策定等

令和4年12月26日 令和4年度評価結果送付

1. 【Plan】協議会等が目指す地域公共交通の姿	2
---------------------------	---

(1) 田原市の概要

- 人口59,360人※令和2年国勢調査
- 渥美半島に位置し、市町村合併で田原・赤羽根・福江の市街地と集落地域で構成
- 地理的・産業的条件から、マイカー依存度が極めて高い

(2) 第2次田原市地域公共交通戦略計画（地域公共交通計画）について

将来像：だれもが安心して移動できるまち

取組姿勢：協働で“つくり・守り・育てる”公共交通網

全体目標：まちづくりの基盤となる公共交通の確立

計画期間：平成26年度から令和5年度まで <今年度末、新計画策定予定>

定量的目標：市内公共交通利用者数維持（165万人）
：ぐるりんバス 1便当たり乗車人数5.0人以上、ミニバス3.0人以上

※補助対象路線

- 地域間幹線系統補助：
豊鉄バス伊良湖本線・支線
- フィーダー系統補助：
コミ乗合交通（田原市ぐるりんバス）

2. 【Do】目標達成に向けた公共交通に関する主な具体的取組

3

取組名称	取組の概要	実施結果	実施結果の考察
★コミュニティバスの運行	・令和元年10月に路線変更及び廃止（一部統合）	前年比較12%増 (89,003人⇒99,258人)	・コロナ禍の影響で減少した利用者は、地域等と連携した利用促進等の結果、路線変更以降最大の利用者数となった。
路線カルテの作成及び地域との協議	・カルテ作成 ・沿線校区への情報提供（表浜線利用推進協議会の開催等）	校区主体のコミバスの利用促進等の実施 * 年間約5件/沿線校区	・校区に対しコミバス利用状況を報告 ・地域も自発事として考え、地域主体で利用促進等が実施された
運転免許証自主返納支援事業の継続実施（H29～）	・免許返納者へコミュニティバス1年間無料乗車券等の支援実施	市内返納者数前年比較13%減 (199人⇒156人)	・前年度より返納者数は減少しているが、事業開始から返納数は継続的に人数がある認識 ・今後は年度並の数字で推移する予想
高校生バス通学用定期券購入助成の継続実施（R1～）	・市内在住豊鉄バス利用高校通学者へ通学定期購入費3割助成	実利用人数（推定） 前年比較1%増 (189人⇒191人)	・高校生年代の減少 ・田原地域から福江高校へ通学減少 ・利用者数は横ばい
ラッピング車両の導入周知活動の実施（R1～）	・車両にラッピングを実施 ・オリジナルペーパークラフト作成・配布	各種イベントでオリジナルペーパークラフト配布（累計約500枚）	・各種イベント参加時にペーパークラフトを配布し、未就学児を中心にぐるりんバスへの興味を醸成



2. 【Do】目標達成に向けた公共交通に関する主な具体的取組

4

取組名称	取組の概要	実施結果	実施結果の考察
ぐるりんバスの系統識別番号導入の実施（R3～）	・系統識別番号記載（車両、ガイドブック等）	ぐるりんバス車両（9台）の方向幕等への掲載	・市内利用者、技能実習生等に対し、分かりやすい情報提供を実施
ぐるりんバス中山線の路線延伸の実施（R4.10.1～）	・令和4年10月にバス停新設及びダイヤ変更	前年比較5%減 (5,902人⇒5,629人)	・高齢者の居住の多い地域にバス停を新設したが、新規バス停利用者は一定数いたが、全体では新規利用者が少なく微減した。新規バス停の利用者は一定数いることから地域等と連携した利用促進等を今後も検討する必要がある。
情報発信の継続（R4.10.1、R5.3.15）	・交通ガイドブックの作成・配布 ・多言語版バス乗り方情報作成	ガイドブックの全戸配布（25,000部） 多言語広報への掲示、HP掲載	・ガイドブックを全戸配布することで、公共交通を周知・PR出来た ・バスの乗り方を多言語化することで市在住外国人等を中心に乗り方を周知出来た
市公共施設と連携した取組の実施（サンテバールクたはらとの連携）	・サンテバールクたはらが実施した各種イベントで、ぐるりんバス利用者へオリジナル缶バッジをプレゼント	チューリップフェア、GW、夏休み等のイベントで計100個配布	・缶バッジ等を未就学児を中心に配布することで、公共交通を身近に感じるきっかけとなった。



[系統識別番号一覧]



[ベトナム語]



[オリジナル缶バッジ]

2. 【Do】目標達成に向けた公共交通に関する主な具体的取組

5

取組名称	取組の概要	実施結果	実施結果の考察
MaaSアプリを活用した取組 (R4.10.8~11.27)	・博物館企画展でのMaaSアプリを活用した企画きつぶの販売	期間内の販売実績52枚	・エリア版MaaSアプリ「CentX」を活用した初めての試み ・今後も関係機関と連携し、継続実施予定 
東三河地区で連携した取組（東三河地域公共交通活性化協議会） (R5.7.21~11.30)	・50円バスの実施 ・バス整理券ラリー＆どう解く家康謎解きゲーム実施	前年度比、8月のぐるりんバス利用者4%増（7,983人→8,335人）	・8月（夏休み）のイベント期間、バス利用者数は増加しており、一定の効果があった 
市民まつり、エコフェスタでのブース出展 (R4.10.23、R5.7.30)	・公共交通に関する情報展示 ・オリジナル缶バッヂの配布 ・はたらくクルマ集まれ実施	ブース来場者計約400名	・両イベントとも、多くの方が来場した中で多くの方に対して公共交通をPR出来た ・特に市民まつりではバスに加え、消防車やパトカー等を集めたイベントを実施し、未就学児やその保護者に対してPRが出来た
豊橋鉄道渥美線、豊鉄バスと連携したイベントの実施 (R5.2.27、R5.8.5、R5.8.26)	・バス乗り方教室の実施① ・夏休み親子バス体験ツアー② ・目指せ！渥美線博士③	野田小学校5、6年生対象① 申込者計約450名②③	・多くの申込みがあり、未就学児等のバスや電車の人気を認識 ・中学校へバス通学する児童に対して乗り方教室を実施 ・関係機関と連携し、継続実施予定  [渥美線博士]

3. 【Check】計画の目標の達成状況とその理由についての考察

6

（1）自己評価を行った会議

・令和5年1月17日（水） 田原市地域公共交通会議

（2）目標に対する評価（第2次田原市地域公共交通戦略計画評価）

目標	目標値*1	実績値達成状況*2				目標達成状況
		H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	
市内公共交通利用者数の維持	165.0万人	160.2万人	107.4万人	115.7万人	126.4万人	未達成
内訳	目標値（人）	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	
鉄道（渥美線・市内4駅）	733,000	732,365	514,457	557,108	615,367	未達成
路線バス（伊良湖本線・支線）	329,000	316,186	286,341	259,370	202,000	未達成
フェリー・高速船	387,000	362,871	139,101	194,624	278,160	未達成
コミュニティバス	97,000	95,930	78,297	89,003	99,258	達成
タクシー	104,000	95,602	56,409	57,475	69,381	未達成
計	1,650,000	1,602,954	1,074,605	1,157,580	1,264,166	

* 1 : H28、H29年集計値。

* 2 : 対象期間は、第2次田原市地域公共交通戦略計画の目標に合わせ、4月から翌年3月末までとしている。

◆考察

- ・対象期間、コミュニティバスは目標達成。その他の交通モードは昨年度比、若干増が見られたものもあったが、目標は未達
- ・伊良湖支線の輸送量は若干の回復傾向であったが、高校生の利用は減少傾向が継続。
- ・人口減少に伴う利用者減少や、生活様式の変化等で、定期利用者が減少しており、以前の数字や目標数値までの回復は難しい状況

3. 【Check】計画の目標の達成状況とその理由についての考察

7

(3) コミュニティバスに関する評価（生活交通確保維持改善計画目標評価）

区分	目標	実績値（※）				達成状況	利用者数（R4）	便数（R4）	
		H31年度	R2年度	R3年度	R4年度				
ぐるりん バス	市街地線	1便当たり利用者 数を5.0人以上に する。	3.3人／便	3.1人／便	3.9人／便	4.9人／便	未達成	23,332人	4,745便
	童浦線		6.3人／便	6.3人／便	7.5人／便	7.4人／便	達成	35,755人	4,850便
	サンパル線		3.8人／便	4.3人／便	4.4人／便	4.4人／便	未達成	24,139人	5,527便
ぐるりん ミニバス	表浜線	1便当たり利用者 数を3.0人以上に する。	2.9人／便	2.5人／便	2.7人／便	3.3人／便	達成	11,895人	3,650便
	中山線		2.6人／便	2.3人／便	2.3人／便	2.2人／便	未達成	5,629人	2,555便

※対象期間は、生活交通確保維持改善計画の期間に合わせて10月から翌年9月末までとしている。

◆考察

- 路線全体：令和元年の路線再編以降、利用者数は最大となった。
- 市街地線：4月以降、臨海企業従業員が市街地線沿線の寮に移転したことにより増加。
- 童浦線：臨海部企業従業員等の一部の移転により、若干の減少傾向となったが、利用者数は高い状況。
- サンパル線：中心市街地への通院、中学生通学利用者数等で、一定数の利用者数確保。
- 8月は小中学校夏季休暇の影響で利用者は減少。
- 表浜線：高齢者の通院や買い物利用者が増加したことにより、利用者は増加傾向となり目標達成。
- 中山線：10月に高齢者が多く居住する地域に路線を延伸したが、利用者数は減少。引き続き、免許返納者等の新規需要の開拓が課題。

4. 【Act】計画目標の達成に向けた今後の取組方針

8

	計画目標の現在の到達点	今後の取組方針
第2次田原市地域公共交通戦略計画	市内公共交通利用者数、目標未達 目標値：165.0万人 実績値：126.4万人 達成率約77%	<ul style="list-style-type: none"> 運転免許証自主返納事業、高校生通学バス定期券購入助成を継続実施 東三河地域と連携した広域的な利用促進を継続実施 現在の生活様式に対応した公共交通の在り方の検討を実施 引き続き、伊良湖支線等の路線バスの運行について運行事業者及び沿線地域と連携して利用者数の減少を止めるような取組を実施
生活交通確保維持改善計画	ぐるりんバス 1便当たり乗車数 目標達成：童浦線、表浜線 目標未達：市街地線 サンパル線 中山線 * 利用者数は令和元年の再編以降最大の利用者数を達成	<ul style="list-style-type: none"> 地域版MaaSアプリ等と連携し、DX等の技術を活用した利用促進の継続 QR決済の導入による利便性の向上 引き続き関係機関と連携した利用促進策等を実施し、官民一体となった「守り育てる」公共交通利用促進事業を検討 路線カルテを用いて路線ごとの利用実態を検証し、地域と利用促進策を検討し実施 バス停ごとに利用者の分析を行い、利用実態に合わせて、変更が必要な場合は随時ダイヤ・ルート等の変更を実施 移動の減少傾向や性格等を分析

5.直近2年間の二次評価の活用・対応状況

9

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前回	・引き続き東三河地域の関係者と連携した利用促進されるよう期待します。	夏休み小学生50円バス、どう解く家康等実施	引き続き、東三河地域と連携した利用促進を実施予定
	・路線カルテを活かして地域との利用促進策の検討をすすめ、取組に結びつくよう期待します。	路線カルテを沿線校区と共有校区主体の利用促進等を依頼	情報共有を継続実施。特に利用者数が回復しない中山線沿線校区を中心に、利用者増に繋がる取組を関係機関と連携して実施
	・地域間幹線系統である伊良湖支線（福井C堀切）について、輸送量や平均乗車密度の低下が見られますので、引き続き利用促進を図られるよう期待します。	多言語版バス乗り方情報作成 小学生向け乗り方教室の実施	伊良湖支線の輸送量は若干の回復傾向であったが、引き続き利用者の減少を止めるとともに、運行事業者や沿線地域と連携して実施
前々回	・引き続き関係者と連携した利用促進を図られ、観光客誘致に向けても情報発信されるよう期待します。	ぐるりん×たまほスクラッチ大作戦及び渥美半島ぐるっと得々クーポン祭等実施	引き続き、地域と連携した利用促進を実施予定
	・市外の方や外国人等を含む新規利用者にも分かりやすく、利用しやすい環境づくりに向けた取組に期待します。	多言語版バス乗り方情報作成	令和6年3月までに現在2言語の情報を5言語へ追加予定
	・路線カルテを活かして地域との利用促進策の検討をすすめ、取組に結びつくよう期待します。	路線カルテを沿線校区と共有校区主体の利用促進等を依頼	情報共有を継続実施。利用者数の減少が大きな路線の沿線校区を中心に、利用者増に繋がる取組を関係機関と連携して実施
	・地域間幹線系統である伊良湖支線（福井C堀切）について、輸送量や平均乗車密度の低下が見られますので、保美地域の再編と相まって、引き続き利用促進を図られるよう期待します。	渥美半島ぐるっと得々クーポン祭実施	輸送量が15.2となっていることから、利用者の減少を止める取組を運行事業者や沿線地域と連携して実施

※前回：令和5年3月10日、前々回：令和4年3月10日

6.計画・評価の推進体制

10

＜年間単位の進捗管理、評価スケジュール＞												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
協議会			①						②			③
主な行事		確保維持改善計画 ◆					次年度予算要求 ★	自己評価 ★			2次評価 ★	
実施すること		前年度事業評価に基づく改善と反映 C		次年度事業計画の検討 P		今年度事業の検証 C				実施状況の確認評価、課題の共有改善 A		
事業実施							D					
部会												

【協議会の実施状況】

- 第61回協議会② 令和4年12月26日
- 主な議題：令和4年度地域公共交通確保維持改善事業に関する自己評価（案）について [承認]
- 第62回協議会③ 令和5年3月27日
- 主な議題：令和4年度事業計画・収支予算（案）について [承認]
- 第63回協議会① 令和5年6月21日
- 主な議題：田原市生活交通確保維持改善計画（案）について [本計画の承認]
- 第64回協議会② 令和6年1月17日
- 主な議題：令和5年度地域公共交通確保維持改善事業に関する自己評価（案）について [承認]